

第 1874 回例会報告



◇会長告知◇

会長 小口 直久
皆さん、こんにちは。
いよいよ諏訪湖ロータリークラブ第 41 期がスタートしました。本日は、まず皆様にお伝えしなければならないことがあります。期初より私的な

ことでご心配をおかけしており、誠に恐縮ですが、どうか少しお時間を頂戴できればと思います。

私の母は、数年前より大動脈解離や脳梗塞といった大病を患っていましたが、その都度、驚くほどの生命力で乗り越えてまいりました。そんな母が、2 週間ほど前、入所している施設から容体急変の知らせを受け、急ぎ病院に駆けつけたところ、高血圧による脳出血との診断でした。残念ながら意識が戻ることはなく、そのまま静かに息を引き取りました。93 歳という長い人生に、静かに幕を下ろしました。

不思議なことに、母が旅立ったのは第 40 期の最終日、日付が変わる直前の深夜のことでした。入院中も「家に帰りたい」と口にしていて母が、ようやく帰ってきた我が家で、穏やかな寝顔を見せてくれました。その顔を見て、「やっとゆっくり休めるね」と声をかけた瞬間、自分の中でひとつの区切りを感じました。「私は精一杯生きたからもう大丈夫。これからはあなたが精一杯生きなさい」

そんなふうな母に背中を押された気がしました。母は、これから始まる第 41 期をきっと見守ってくれている、そう感じています。歌が大好きで、好奇心旺盛、いつも前向きでポジティブだった母。

今週日曜日と月曜日、そんな母の 93 年の人生に敬意と感謝を込めて、天国へ見送ります。

そして、その母に育ててもらった私が、今こうして共に歩む多くの仲間とともに、母を送り出すことこそ、何よりの供養になると信じています。お時間が許す方には、ぜひご一緒いただけましたら幸いです。

さて、本日は第 41 期最初の大切な例会です。私を含め、各委員長から今期の事業計画を皆さまにお伝えいたします。今回は例年と異なり、3 回の例会にわけて各委員会から丁寧に発表していただきます。例会最後に、会員の皆さまからエールをいただきましたら嬉しく思います。



◇幹事報告◇ 幹事 成山 秀幸

令和 7 年 7 月 4 日(木)晴

【連絡事項】

1. 会計の吉澤会員より、皆様のレターボックスに会費納入のお願いが配布されております。納付を宜しくお願い致します。
2. 地区からの月信が、デジタル版に変更されましたので、印刷して回覧致します。デジタル版は地区の HP から閲覧できます。
【受領文書】クラブ計画書、ロータリーの友、白鳥バスターガバナーより満期終了の御礼状、ロータリー文庫のご案内、母子の健康月間リソースのご案内



◇理事会報告◇

1. 7/3, 10, 17 の通常例会と、24 日の納涼会について、承認されました。
2. 7/13 に諏訪湖クリーン祭が行なわれます。またご案内が FAX されますので、ぜひ出席をお願い致します。
3. 第 41 期予算案について承認されました。



【出席報告とニコボックス】

出席報告		ニコニコボックス	
		利用人数	今回の金額
会員数	31 人	19 人	25,000 円
出席対象	29 人		
出席者数	22 人	前回累計	0 円
出席率	70.9%	累計	25,000 円
前回修正出席数	人	目標額	60万円
前回修正出席率	%	達成率	3.57%

ニコメッセージ



参院選公示日に本日よりなりました。大切な選挙です。

萩田均

今年は職業奉仕委員会を宜しく願います。

田中久登

小口年度の出港を祝って
近江誠一

小口会長、ご指導のほど宜しくお願いします。

小林聖仁

小口、成山丸の出航を祝って！！

長崎政直

今年広報です。写真撮影でウロチョロします。

河西達雄

小口丸、おめでとうございます。多くの経験を生かしてすばらしいカジ取りを期待します。

高山巖

實から突然代表を受け継いで 24 年。この 7 月 1 日～代表権を

息子にゆだねました。今後は取締役会長に就任致しました。まだまだがんばります。よろしくお願いたします。北原厚子
第41期スタートとなります。小口会長成山幹事を皆で盛り上げていきましょう。宮坂英貴



第41期！力不足、知識不足ながら精一杯、社会奉仕委員長を務めさせていただきます。五味弾

初めての委員会活動が開始となりました。クラブ奉仕委員として頑張りますのでよろしくお願いたします。寺島陸史

夜間納涼会について

7月24日(木)に、ホテル紅やの前に浮かぶ船着き場の台船にて計画いたしました。アトラクションとしまして、丸松水産の松浦さんによるマグロの解体ショーを実施致します。お子さんなど多数のご参加をお願いたします。



◇誕生祝い◇

北原敦也会員おめでとうございませ



◇例会内容◇

会長・幹事担当例会 第41期事業計画発表

改めまして…皆さん、こんにちは。

2025-2026年度、諏訪湖ロータリークラブの会長を務めさせていただきます、小口 直久

です。どうぞよろしくお願いたします。

本日は、私の会長としてのテーマと、これからの一年間に込めた想いについて、お話しさせていただきます。

私が掲げた今年度のテーマは、

「原点回帰 ～『奉仕の心』を未来へつなぐ～」です。

私たち諏訪湖ロータリークラブは、昨年度、創立40周年という大きな節目を迎えました。多くの先輩方が築いてこられた歴史と、地域社会や国際社会に対する長年の貢献に、改めて深く敬意を表します。

この40年の歩みの上に立ち、私たちは次なる45周年に向かって進み始めています。

そんな今こそ、「なぜ私たちはロータリーに集い、奉仕を行うのか」という原点に立ち返りたいと思ったのです。

ロータリーの基本理念である「超我の奉仕(Service Above Self)」は、自分のことよりも他者のために尽くすという、非常にシンプルで深い言葉です。しかし、日々のロータリー活動や委員会運営の中では、つい形式や日程にとらわれてしまい、本来の意義を見失いがちです。

だからこそ今年は、「原点回帰」。

奉仕とは何か。私たちがこのクラブに属し、活動を続ける意味は何なのか。

それを一人ひとりが見つめ直し、次世代へとしっかりとつないでいく一年にしたいと考えています。

今年度は、特に3つの視点からクラブの発展を目指していきます。

まず1つ目は、「奉仕の原点を見つめ直す」こと。

ロータリーの歴史や理念、そして諏訪湖ロータリークラブの歩みを学ぶ機会を設けます。

過去の奉仕活動を振り返りながら、私たちがこれからどこを目指すのか、5年後の45周年へ向けての土台を築いていきたいと考えています。

2つ目は、「人と人との結びつきを大切にする奉仕活動」です。

私たちの活動は、地域に根ざしてこそ意味があります。

例えば、毎年続けている諏訪湖の清掃活動や里山整備。これは単なる環境保全活動ではなく、地域の中学生や子どもたちと一緒にを行うことで、世代を超えたつながりを生む大切な機会です。

また、つつじヶ丘学園への支援、若者への職業講話や体験、国際奉仕としてのセブ支援など、人に寄り添う奉仕を、より一層充実させていきたいと思ひます。

そして3つ目は、「ロータリアンとしての誇りと絆を育む」こと。

クラブは、会員一人ひとりの思いや行動で成り立っています。

例会では、グループディスカッションなどを取り入れ、会員の皆さんが積極的に参加できる場づくりを目指します。また、夜間例会や親睦イベントなども工夫し、楽しく学び合える関係を築いていきたいと考えています。

奉仕の根本には、「人と人とのつながり」があると私は考えます。

例会や委員会、奉仕活動の場において、一人ひとりの声が尊重され、共有される風土こそが、ロータリーの真の強さだと信じています。

寛容な心が互いへの尊敬を生み、それが仲間意識をより強くし、奉仕活動の達成感も一層深まるのではないのでしょうか。全会員の知恵と力を結集しながら、次の時代にふさわしいクラブの姿をともに描いていきましょう。

最後に、私から各委員長には、「第40期を終え、さらなる高みを目指すためにも、ぜひ45期のクラブの姿を思い描きながら、事業計画を立ててほしい」とお願ひしています。この第41期が、その未来に向けて一歩ずつ着実に歩みを進めるきっかけとなるよう願っております。もちろん、この思いは理事や委員長だけでは実現できません。会員の皆さま一人ひとりのお力添えがあってこそ、私たちの諏訪湖ロータリークラブは、さらに輝き、飛躍していけると信じています。

どうか今期も変わらぬご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。ありがとうございました。



望月勉クラブ奉仕委員長と
田中久登職業奉仕委員長による事業計画発表